

WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第3期第2四半期 株主通信 Vol.6

2015年4月1日～2015年9月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2013年度の国民医療費が初めて40兆円を超え、医療費の抑制や医療の地域格差の是正が喫緊の課題となっており、今後の政策に注目が集まっております。当社グループの顧客である医療機関におきましては、経営の合理化に加えて、国が主導する病院の機能分化や病床再編が進むと考えられます。このような構造変化のなか、当社グループが提供する病院のバリューアップ（価値向上）支援へのニーズはますます高まるものと考えております。今後は人材育成をより一層強化し、強みである提案力の向上を図り、M&Aも視野に入れながら、売上高1,000億円グループを目指してまいります。皆様には今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 秋沢英海

連結財務ハイライト

(2016年3月期 第2四半期連結累計期間)

	百万円	前年同期比
売上高	25,871	+9.7%
営業利益	1,277	+16.8%
経常利益	1,283	+16.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	937	+32.7%
1株当たり四半期純利益(円)	65.28	+32.7%

ウイン・パートナーズグループ



Q-1 当上期の事業環境と経営成績についてご解説ください。

医療・介護制度の見直しによって多様化する医療機関のニーズに合わせた提案型の営業活動を強化し、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力しました。その結果、当上期の連結売上高は前年同期比9.7%の増収、営業利益は前年同期比16.8%の増益となりました。

売上高に関しては、既存顧客への販売が増加したことに加え、前期に獲得した顧客への販売が好調に推移しました。さらに新規開設した営業拠点が新たな顧客

を開拓したことも増収に寄与しました。分類別では、主力である狭心症や心筋梗塞を治療する虚血性心疾患関連(PCI)や、不整脈を治療する心臓律動管理関連(CRS)が2桁の増収となりました。利益に関しては、販売管理費の伸びが売上高の伸びを下回ったことにより、2桁の営業増益を達成することができました。

また、四半期純利益^(※)は投資有価証券の売却益を計上したこと等により、32.7%の増益となりました。

Q-2 当下期の事業環境の見通しと業績予想についてお聞かせください。

通期の連結業績については期初計画通り、売上高555億円(前期比9.8%増)、営業利益29億50百万円(同13.5%増)、経常利益29億50百万円(同12.3%増)、当期純利益^(※)19億30百万円(同14.2%増)を見込んでおります。

当下期も引き続き、虚血性心疾患(PCI)や心臓律動

管理(CRS)関連製品などの販売拡大に注力するほか、病院のバリューアップ支援などの付加サービスにも積極的に取り組み、顧客開拓を進めていく計画です。このほか、いくつかの新製品の発売が予定されており、これらの普及に向けた営業活動にも力を入れたいと考えております。

(※) 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

2016年3月期連結業績予想

	百万円	前期比
売上高	55,500	+9.8%
営業利益	2,950	+13.5%
経常利益	2,950	+12.3%

	百万円	前期比
親会社株主に帰属する当期純利益	1,930	+14.2%
1株当たり当期純利益(円)	134.46	+14.2%

※予想値は2015年5月11日の公表値

Q-3 コーポレートガバナンス・コードの適用が開始され、ガバナンスへの関心が高まっていますが、考えをお聞かせください。

企業価値の向上を図るために、ステークホルダーとの信頼関係の構築や社会的責任の遂行を重要課題と考えております。コーポレートガバナンスのあり方について正解はひとつではなく、各社の置かれた状況に応じて、自社にとって最適なガバナンスとは何かを考えていくことが大事だと考えております。

当社グループは2013年の経営統合を機に持株会

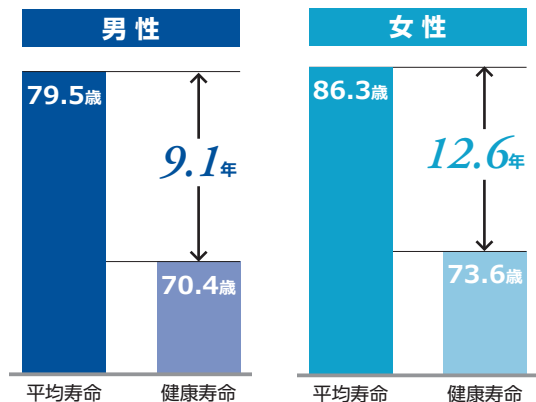
社に移行し、グループ経営体制の強化を図ってきました。当上期には監査等委員会設置会社への移行、社外取締役の増員を実施し、経営の監督機能を強化いたしました。あわせて長年の商取引の中で発生していた持ち合い株式についても解消しました。今後も健全で透明性の高いガバナンスの実現に向けた取り組みを継続し、企業価値の向上を目指してまいります。

Q-4 企業価値向上の基礎となるグループ企業理念についてご紹介ください。

当社グループは「すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献し

ます。」を企業理念に掲げております。クオリティ・オブ・ライフ(QOL)とは“生活の質”のことです。すべての人が生涯にわたって健康で充実した日々を送れるように貢献することが、私たちの社会的使命と位置付けております。日本人の平均寿命は、生活水準の向上や医療の発展などに伴って延びてきましたが、日常生活に制限の無い状態で過ごせる期間、すなわち「健康寿命」で見ると、平均寿命との差が男性で約9年、女性で約13年あります。(図1参照)平均寿命だけでなく、健康寿命を延ばしていくことが大切だと考えます。健康寿命の延伸は、個人の生活の質の向上とともに、医療や介護にかかわる社会の負担軽減にもつながります。私たちは、「体にやさしい低侵襲医療」の提供を通じて、健康幸福社会の実現に貢献していきます。

図1 平均寿命と健康寿命 出典：平成26年版 厚生労働白書



Q-5 ステークホルダーとの関係についてお聞かせください。

図2 ステークホルダーに対する当社グループの役割



株主の皆様をはじめとして、患者さんや医療機関、医療機器メーカー、従業員、行政や地域社会など、それぞれのステークホルダーに対して当社グループが果たすべき役割があります。(図2参照)

例えば患者さんや潜在的に医療を必要とする人々に対しては、低侵襲医療の提供を通じてQOLの向上を図ることが、私たちの責務であると考えております。顧客病院に対しては、安全で最適な医療を提供する為の現場支援や競争力向上の提案、取引先である医

療機器メーカーに対しては新製品の販売促進や在庫管理・回収等の支援、行政に対しては、QOL向上による医療費の抑制、さらに従業員に対しては雇用の確保ややりがいの提供、自己成長の支援などを通じ、ステークホルダーに対する価値創造をしていきたいと考えております。そして株主の皆様に対しては、持続的な成長を実現することで、株主価値の向上を図ることが最大の責務となるでしょう。

Q-6 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは医療という世界の中では、決して主役ではなく、目立つ存在でもありません。我々の存在を患者さんに知っていただく機会は、ほとんど無いというのが実情です。しかしながら、どんな世界にも縁の下の力持ちのような、目立たないけれど重要な役割を果たすプレイヤーは不可欠であり、当社グループは医療の安全を守るという重要な社会的責務を担っていると自負しております。

株主の皆様には、これからも適切な情報開示と説明責任を果たし、継続的な利益還元でご厚情にお応えしてまいります。なにとぞ、当社グループの事業活動にご理解を賜り、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

代表取締役社長 秋沢 英海

1960年12月高知県生まれ。

1983年京都産業大学を卒業し、同年4月 西本産業(株)(現キヤノンライフケアソリューションズ(株))入社。1992年9月(株)タクミコンサーン(現株)ウイン・インターナショナル)へ営業部長として入社。同年10月には代表取締役就任。2013年4月 テスコ(株)と経営統合、両社の完全親会社となるウイン・パートナーズ(株)代表取締役社長に就任。幼少期に始めた剣道は4段の腕前。



連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	23,590	25,871
売上原価	20,453	22,420
売上総利益	3,136	3,450
販売費及び一般管理費	2,043	2,173
営業利益	1,093	1,277
営業外収益	8	7
経常利益	1,101	1,283
特別利益	4	263
特別損失	0	167
税金等調整前四半期純利益	1,105	1,379
法人税等	399	442
四半期純利益	706	937
親会社株主に帰属する 四半期純利益	706	937

Point

売上高・経常利益

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得により、主力商品の販売数量が伸長した結果、増収増益となり過去最高益を達成しました。

Point

親会社株主に帰属する四半期純利益

投資有価証券売却却益169百万円を計上したこと等により、増益となりました。

連結包括利益計算書(要旨)

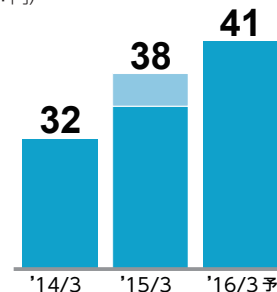
(単位：百万円)

	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日
四半期純利益	706	937
その他の包括利益	18	△117
四半期包括利益	724	819

1株当たり配当金 (単位：円)

目標配当性向

30%以上



※ '15/3の配当内訳：普通配当35円、東証一部記念配当3円

5%

大型医療機器関連

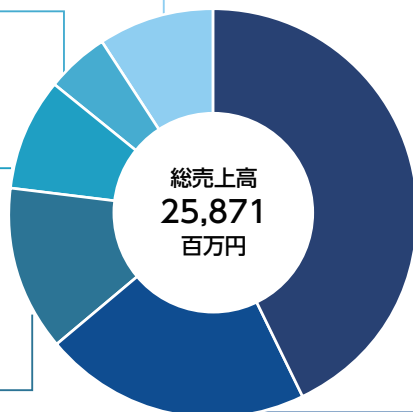
9%

末梢血管疾患関連 (PPI)
及び脳外科関連

13%

心臓血管外科関連 (CVS)

分類別売上高構成比

総売上高
25,871
百万円

9%

その他

43%

虚血性心疾患関連 (PCI)

21%

心臓律動管理関連 (CRS)

主要分類別売上概況

● **虚血性心疾患関連 (PCI)** 前年同期比 **+11.4%**
集患支援を継続的に実施したこと等により顧客施設の症例数が増加し、薬剤溶出型ステント (DES) やPTCAバルーンカテーテル等の販売数量が伸長しました。

● **心臓律動管理関連 (CRS)** 前年同期比 **+19.7%**
MRI対応型の植込型除細動器 (ICD) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)、EPアブレーションの販売強化を継続して実施したこと等により販売数量が伸長しました。

● **心臓血管外科関連 (CVS)** 前年同期比 **▲1.9%**
冠動脈バイパス術や経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) の症例数が前年同期に比べて伸び悩んだこと等により販売数量が減少しました。

● **末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連** 前年同期比 **+7.8%**

経皮的シャント拡張術の症例数が前年同期に比べて増加したこと等によりPTAバルーンカテーテルの販売数量が伸長しました。

● **大型医療機器関連** 前年同期比 **▲20.9%**
医療施設の新築・増改築の情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行うも、消費税率の引き上げや建築コストの上昇に伴う需要の減退等により減収となりました。

● **その他** 前年同期比 **+23.0%**
顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図り、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルの普及が進んだほか、消化器系の商品の売上も増加しました。

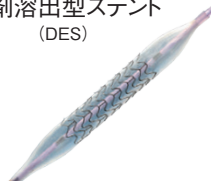
主要取扱製品

虚血性
心疾患
関連 (PCI)

PTCA
バルーンカテーテル



薬剤溶出型ステント
(DES)



血管内超音波 (IVUS)
診断カテーテル



心臓律
動管理
関連 (CRS)



ペースメーカー



植込型除細動器
(ICD)

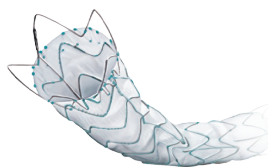


両室ペーシング機能付き
植込型除細動器 (CRTD)



心筋焼灼術用
カテーテル

心臓血
管外科
関連 (CVS)



ステントグラフト

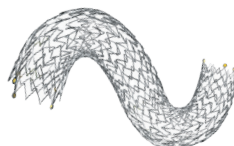


経カテーテル的大動脈弁留置術
(TAVI) 用生体弁



機械弁

末梢血管
疾患関連
(PPI) 及び
脳外科関連



末梢血管用ステント



頸動脈用ステント



塞栓用コイル

大型医療
機器関連
及びその他

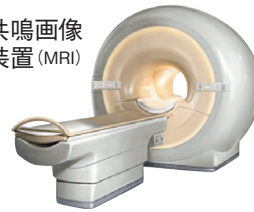
インスリンポンプ



移動式X線
撮影装置



磁気共鳴画像
診断装置 (MRI)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期末 2015年3月31日	当第2四半期末 2015年9月30日
資産の部		
流動資産	24,537	24,327
現金及び預金	7,238	7,779
受取手形及び売掛金	14,512	13,782
商品	2,106	2,121
その他	679	643
固定資産	3,228	2,932
有形固定資産	2,311	2,282
無形固定資産	255	245
投資その他の資産	661	404
資産合計	27,765	27,259
負債の部		
流動負債	14,821	13,847
支払手形及び買掛金	13,758	12,907
その他	1,062	939
固定負債	427	620
負債合計	15,248	14,468
純資産の部		
株主資本	12,383	12,775
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	10,099	10,490
自己株式	△537	△537
その他の包括利益累計額	133	16
純資産合計	12,517	12,791
負債純資産合計	27,765	27,259

連結キャッシュ・
フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,288	791
投資活動による キャッシュ・フロー	△486	295
財務活動による キャッシュ・フロー	△459	△545
現金及び 現金同等物の期首残高	8,563	7,238
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,328	7,779

連結財政状態

総資産 **27,259**百万円純資産 **12,791**百万円自己資本比率 **46.9%**1株当たり純資産 **891.13**円

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,379百万円、売上債権の減少が730百万円あった一方、仕入債務の減少が850百万円、法人税等の支払が478百万円あったこと等により791百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が299百万円あったこと等により295百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金の支払が545百万円あったこと等により545百万円の支出となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高

期首より541百万円増加し、7,779百万円となりました。

会社概要

(2015年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都台東区台東四丁目24番8号
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	417名（連結）

役員

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	村田 裕可
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	白田 佳子
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) 2015年6月25日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,251,655株
株主数	2,469名

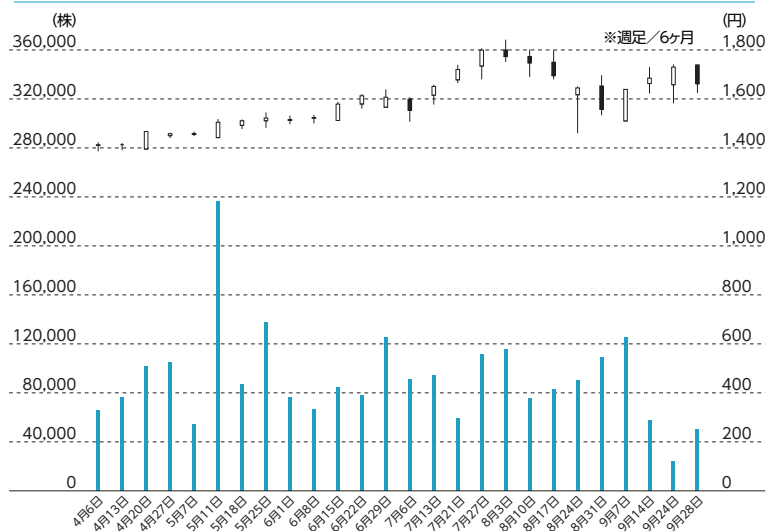
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	2,750,000	19.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,400,500	9.8
株式会社キエマ企画	945,500	6.6
秋田裕二	856,245	6.0
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	5.6

(注) 持株比率は自己株式897,474株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2015年4月～9月)

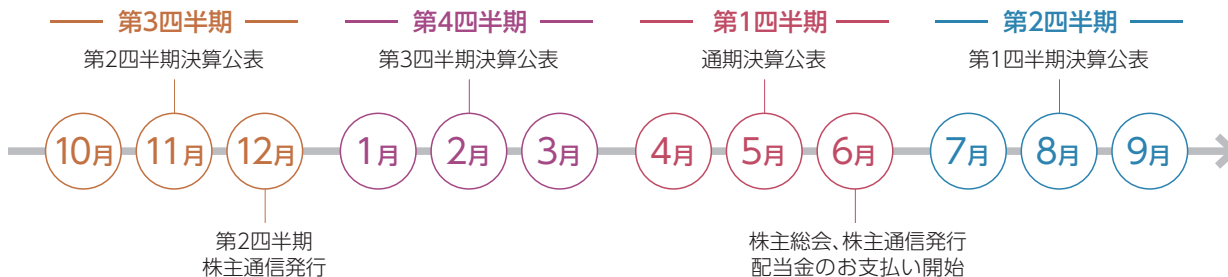


株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告の方法	電子公告 http://www.win-partners.co.jp/koukoku/ やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

IRカレンダー



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒110-8558 東京都台東区台東4-24-8
TEL: 03-6895-1234

www.win-partners.co.jp



WINはQOL推進企業です